

令和4（2022）年12月

令和5（2023）年度入学試験合格者の皆さんへ

名古屋芸術大学 教育学部
学部長 溝口哲夫

教育学部子ども学科に合格された皆さん、誠におめでとうございます。教職員一同、心よりお祝い申し上げます。

さて、大学での学びが近づいてくる今、皆さんは一日一日をどのような想いでお過ごしでしょうか。子どもたちに寄り添い、子どもたちの教育や成長を支える立場を目指す方や、子育てをする保護者の良き相談者を目指す方など、様々な形で子どもに関わる社会人になる夢を、きっと膨らませていることだろうと思います。私たち教職員一同、皆さんの夢が叶うよう、精一杯努力していきます。

ところで、教育学部ではどのようなことを学ぶのかと、期待はもちろんのこと、不安も抱かれていますのではないのでしょうか。教育学部における学びには、皆さんがこれまでに触れたことのない内容がたくさんありますが、それらの多くは、私たちの日常生活と密接に関わっています。つまり、これまでに皆さんが経験してきた学びや体験、生活などを交えながら子どもたちへの理解や新しい知識・思考、スキル等を身に付けていくことが、教育学部での大切な学びとなるのです。

そこで、入学後の学びをスムーズに開始し、深めていくために、次ページ以降の「【入学前教育】」課題に取り組むことをお奨めしたいと思います。

これらの課題は、皆さんがこれまでに蓄えた知識や経験を引き出して学びに役立てるとともに、皆さんが目指す将来に通じる楽しい学びへの入り口となるものです。ぜひ、前向きに取り組んでほしいと思います。

入学式で皆さんにお目にかかることを、教職員一同、楽しみにしています。

【お問い合わせ先】

名古屋芸術大学教育学部子ども学科（担当：磯和）

E-mail: nua-edu+pre@nua.ac.jp

令和5（2023）年度入学生対象 教育学部子ども学科 入学前教育

次の3つの課題を、期日までにメールまたは郵送で提出してください。

課題1：あなたが興味を持った教育・保育・子どもに関連する記事を読み、まとめる。

目的： 大学での学びをより豊かなものにするために、次の2つを知ることが大切です。

ひとつは、現在の社会で起きていることについて知ることです。教育や保育、福祉のあり方は、社会の動向から少なからず影響を受けています。そのため、教育や保育、福祉について学ぶ際に、現在の社会で起きていることを知っているか、知らないでいるかでは、学びの深さが違ってきます。

もうひとつは、あなた自身が教育・保育・子どもについてどのような関心を持っているかを知ることです。大学での学びは、自身の興味・関心を深めていくことでもあります。

この2つを知るためには、ニュース番組を見たり、新聞やWebに掲載される記事に目を通したりして、興味を持った記事を収集してまとめてみるのが有効です。しかしながら、この習慣は簡単に身に付くものではありませんし、忙しい中ではおろそかになってしまいがちなことでもあります。

そこで、この課題への取り組みを通して、社会の動向に目を向ける習慣を身に付けてください。そして、自身の興味・関心を知ったうえで、大学での学びに取り組む準備を整えてください。

※これまでの生活経験、知識や学んだことも生かしながら、読み、まとめるようにしましょう。

- 取組方：1. 新聞やWebに掲載されている教育・保育・子どもに関する記事のうち、気になるものを集める。
2. 集めた記事を読む。
3. 集めた記事から、最も興味・関心を持った記事ひとつについて、以下のア～ウに従ってまとめる。
ア) 何月何日に、どのメディア（新聞名やwebサイト名など）で見つけた、どのようなタイトルの記事であるかを記述する。
イ) その記事がどのような内容であったのかを300字程度でまとめる。
ウ) その記事を読んで、考えたことや感じたことを500字程度でまとめる。
※PCで打てる人はwordで打って、プリントアウトして郵送するか、メール添付して送る。
手書きがよい人は、レポート用紙または原稿用紙に書いて郵送する。

提出日：2023年1月31日（火）必着

課題2：教育・保育・子どもの基礎に関する課題書籍リスト（2023年1月10日（火）公開予定）に掲載されている書籍を1冊以上読み、学んだことをまとめる。

目的： 本課題の目的は、本学で本格的に学び始める前に、教育・保育・子どもの基礎についての書籍に触れ、入学後の学習の見通しを持つことです。大学での学習では、教育・保育・子どもに関する理論的な事柄と実践的な事柄との両方を学び、その両方を融合させていくことが大切になります。そして、学習の基礎となる理論的な事柄についての学びを進める方法のひとつが、“書籍（文献）を読むこと”です。

そこで、入学前に読んでおくとよいと考えられる書籍をいくつか紹介しますので、その中から1冊以上を購入または図書館等で借りて読み、理解したこと、新たに得た知識や気付き、考えたことなどをまとめてください。

※これまでの生活経験、知識や学んだことも生かしながら、読み、まとめるようにしましょう。

取組方：選んだ書籍を読み、そこから学んだことを1200字程度でまとめる。

提出課題のタイトルは『『書籍名』を読んで』とする。

※PCで打てる人はwordで打って、プリントアウトして郵送するか、メール添付して送る。

手書きがよい人は、レポート用紙または原稿用紙に書いて郵送する。

提出日：2023年2月28日（火）必着

課題3：あなたが興味を持った教育・保育・子どもに関連する記事を読み、まとめる。

目的：課題3の目的や内容は、課題1と同様です。ただ、課題2に取り組む前と取り組んだ後では、関心を持つ記事や、記事を読んだときに感じることや考えることが変わっているかも知れません。それは、あなたが書籍からの学び（理解したこと、新たに得た知識や気付き、考えたことなど）によって、“新たな視点を得たため”です。大学で学ぶことは、新たな視点を得て、多角的、複眼的にものごとを考えることができるようになることなのです。

課題3から取り組む方も、課題1と課題2を提出する必要はありませんが、課題1から順に取り組んでみることをお勧めします。

※これまでの生活経験、知識や学んだことも生かしながら、読み、まとめるようにしましょう。

取組方：1. 新聞やWebに掲載されている教育・保育・子どもに関する記事のうち、気になるものを集める。

2. 集めた記事を読む。

3. 集めた記事から、最も興味・関心を持った記事ひとつについて、以下のア～ウに従ってまとめる。

ア) 何月何日に、どのメディア（新聞名やwebサイト名など）で見付けた、どのようなタイトルの記事であるかを記述する。

イ) その記事がどのような内容であったのかを300字程度でまとめる。

ウ) その記事を読んで、考えたことや感じたことを500字程度でまとめる。

※PCで打てる人はwordで打って、プリントアウトして郵送するか、メール添付して送る。

手書きがよい人は、レポート用紙または原稿用紙に書いて郵送する。

提出日：2023年3月24日（金）必着

【提出先】

メールの場合：nua-edu+pre@nua.ac.jp ※タイトルは<【入学前教育】受験番号>とすること。

郵送の場合：〒481-8503 愛知県北名古屋市熊之庄古井281番地

名古屋芸術大学 教育学部 入学前教育係

【入学前の学びに関する推奨事項】※課題ではありませんが、ぜひ取り組んでみましょう。

◆子どもを惹きつけ、子どもと一緒に楽しめる活動を身に付けよう。

教育や保育、福祉の現場で働く際には、子どもの前に立つ機会がたくさんあります。教育学部1年生を対象とした「子ども学総論」の授業では、子ども（小学生または3歳以上の幼児）と一緒に楽しめる活動を、1人5分程度で発表することを予定しています。活動例は以下のとおりですので、入学までの間に、どのようなことを、行うか考え、練習しておくことをお勧めします。

【活動例】

- ・弾き歌い（ピアノ・オルガンなど）や楽器演奏、独唱
- ・絵本や紙芝居の読み聞かせ
- ・手を使った遊び（手遊び、指遊び等）
- ・制作したもの（粘土、折り紙、切り紙、絵画等）についてのプレゼンテーション
- ・体操やダンス
- ・その他、自分で工夫したもの

◆「春を呼ぶ芸術フェスティバル」の様子を観てみよう。

教育学部では、毎年「春を呼ぶ芸術フェスティバル」を開催しています。学部の在学生が、地域の幼児や小学生及びその保護者にも芸術の楽しみを味わってもらえるようにと、日頃の学習や活動の成果を工夫し、パフォーマンスや音楽活動を披露しています。今回は、2023年2月5日（日）に開催する予定です。

このフェスティバルの様子は、YouTube（限定配信・期間限定）で視聴できるようにする予定です。動画を観ていただくことで、芸術大学の中にある教育学部の良さを知っていただくことができると思います。

詳細は追って連絡をいたします。保育者・教育者を目指す先輩達の熱演をご覧ください。

◆大学への入学から卒業後の進路までを見据えてみよう。

皆さんは教員や保育士、福祉の仕事等を志して本学に入学されることと思います。本学での学びを始める前に、あなたの将来の進路（目指す将来の姿）や、将来就きたいと考えている職業（教員・保育士・福祉の仕事など）について、“なぜその職業に就きたいのか”、“その職業に就いてどのようなことを大切にしていきたいのか”をもう一度まとめ、初心を形にしておくことをお勧めします。そして、将来を見据えて、大学生として学びたいことや取り組みたいこと（自己課題）を考えてみてください。

また、あなたが将来就きたいと考えている職業（教員・保育士・福祉の仕事など）について、その職業が具体的にどのような仕事や活動を行っているかを調べ、まとめてみることもお勧めします。例えば、小学校教諭の仕事は単に「授業をする」だけでしょうか？ 保育士は、子どもが帰った後にどんなことをしているのでしょうか？

入学後、本格的な学びが始まる前に、将来就きたいと考えている職業についての理解を広げ、その職業へのイメージを自分なりに描き直してみてください。この取り組みは、大学での学びを進めていくうえでの原動力となります。

令和 5（2023）年度入学生対象 教育学部子ども学科 入学前教育 課題 2 の課題図書リスト

課題図書リスト

No	分類	著者（編著者）	書名	発行年	出版社	価格
1	小学校教育	大村 はま	『新編 教室をいきいきと 1』	1994 年 (初版)	ちくま学芸書房	1,100 円
2	保育・幼児教育	佐久間 路子	『子どもの「こころ」をのぞいてみよう』	2021 年 (初版)	ぎょうせい	1,540 円
3	福祉	『施設で育った子どもたちの語り』編集委員会	『施設で育った子どもたちの語り』	2012 年 (初版)	明石書店	1,760 円
4	芸術	上野 行一	『五感をひらく 10 のレッスン ——大人が愉しむアート鑑賞』	2014 年 (初版)	美術出版社	990 円
5	自由選択	上記の 4 冊以外で大学で学びを進める準備として「入学前にこれを読んでおきたい」という書籍があれば、それを読んで課題に取り組んでもよい。その場合は、提出課題の文字数（1200 字程度）とは別に、その書籍を選んだ理由を記すこと。				

取組方：

No.1～4：いずれも、課題 2 の「取組方」のとおりです。

No.5：課題 2 の「取組方」に加え、提出課題の文字数（1200 字程度）とは別に、その書籍を選んだ理由を記してください。